

請 願 文 書 表

(総合企画局)

受理番号	24	受理年月日	令和5年11月28日
件名	北陸新幹線延伸計画に係る調査等費用の内訳の照会等		
要旨	<p>北陸新幹線京都延伸計画については、地下水への影響や掘削残土の処理、立こうの位置、断層横断の長大トンネルの危険性、財政上の懸念、在来線の存続等の諸問題山積が指摘されているが、何一つ明らかにされないまま今日に至っている。幅広い角度からの議論が必要であり、まず、情報の公開が必須である。環境影響評価は、市民生活や都市環境、市財政への影響が大きい場合等、京都延伸計画中止との選択肢もあり得るものでないと意味がない。市長として国や独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「機構」という。）から聞いていないこともあるかと考える。京都駅は京都駅にとの機構の計画は、事実上、線路の南区通過を意味する。私たち区民にとって最大の関心事であり、請願に至った次第である。</p> <p>については、北陸新幹線京都延伸計画について、国土交通省及び機構に対し、市長として、以下の各項目について照会し、その結果を明らかにすること、また、本年8月25日付け新聞報道では、国土交通省が、北陸新幹線敦賀・新大阪間調査等費用18億円余りの概算要求を発表とのことであるが、これについて、以下の諸点を明らかにすることを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この金額のうち、北陸新幹線独自の設計、分析、調査等の各項目の内訳について。 2 着工後に行う作業費用として想定されていた今年度予算12億円余りについては、着工が断念とされた時点以降執行停止と思われるが、その経過と現状について。 3 同記事では、国土交通省は、用地関係調査など全調査項目に着手していると書かれているが、一方、機構のホームページによると、用地関係調査とは、「対象事業実施区域における登記簿…の取得」や「事前の地権者情報の収集」のことであり、また調査項目には、「京都駅…の概略設計のための諸条件の整理、施工計画の検討等を実施」と書かれている。この記事とホームページを突き合わせると以下の疑問が起こる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「登記簿…の取得」や「地権者情報の収集」となると、もはや具体的なルート of 想定抜きには考えられない。どこの、誰の登記簿取得なのか、情報収集すべき地権者とはどの地域の誰のことなのか、具体的に明らかにされたい。 ② 駅的设计や施工計画の検討と言え、その場所や深さ、地下駅の場合その上の構造物のいかん、周辺環境等の諸条件抜きには考えられない。どんな周辺環境や条件を想定しているか、調査項目に着手の具体的内容を明らかにされたい。 		
請願者			
紹介議員	赤坂 仁、加藤 あい、山田こうじ		
付託委員会	総務消防委員会		